福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和８年第３３週（令和８年８月１０日～令和８年８月１６日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

・第 33 週は、お盆休みがあったため、多くの定点把握疾患の報告数が前週より減少しています。
・結核の報告が 15 件ありました。結核は、結核菌による感染症で、肺結核患者さんの咳やくしゃみ等により、空気中に飛散した結核菌を吸い込むことで感染します。特徴的な症状はなく、早期発見のためには、定期的な胸部エックス線検査を含む健康診断の受診が重要です。咳やたんが 2 週間以上続いたり、微熱や体のだるさが続く場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	15	495	249	8,902
腸管出血性大腸菌感染症	4	137	143	2,121
Ａ型肝炎	1	4	11	213
レジオネラ症	1	41	60	1,520
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2	40	14	608
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	40	19	815
後天性免疫不全症候群	1	36	9	577
侵襲性インフルエンザ菌感染症	2	24	6	354
侵襲性肺炎球菌感染症	2	84	18	1,816
多剤耐性緑膿菌感染症	1	9	7	136
梅毒	2	444	152	7,040
播種性クリプトコックス症	1	10	3	109
百日咳	2	186	76	4,026

■ 定点把握疾患報告数

：警報　：注意報

病名	福岡県			全国(前週)	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	89	0.73	0.51	6,578	1.79
インフルエンザ	57	0.47	1.54	1,926	0.52
急性呼吸器感染症	3,095	25.37	0.57	161,935	44.08
ＲＳウイルス感染症	95	1.36	0.56	1,417	0.64
咽頭結膜熱	32	0.46	0.59	604	0.27
Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	75	1.07	0.56	2,880	1.30
感染性胃腸炎	183	2.61	0.48	7,674	3.46
水痘	24	0.34	0.83	555	0.25
手足口病	44	0.63	0.40	10,403	4.69
伝染性紅斑	0	0.00	－	85	0.04
突発性発しん	15	0.21	0.45	652	0.29
ヘルパンギーナ	34	0.49	0.46	2,915	1.31
流行性耳下腺炎	1	0.01	0.33	73	0.03
急性出血性結膜炎	5	0.19	－	1	0.00
流行性角結膜炎	34	1.31	0.60	337	0.50
細菌性髄膜炎	0	0.00	－	3	0.01
無菌性髄膜炎	1	0.07	－	24	0.05
マイコプラズマ肺炎	0	0.00	0.00	192	0.40
クラミジア肺炎	0	0.00	－	6	0.01
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	－	1	0.00